

PICK UP!

大記録に挑戦してまちをPR!

飲むヨーグルト販売数でギネス記録を達成!

「8時間で最も販売された飲むヨーグルト」のギネス世界記録に挑み、1万413本を販売して認定されました。

今回の挑戦は、ギネス記録の挑戦を地元のPRにつなげようと渡部順司社長が発案。サイロ展望台では、飲むヨーグルトが1日平均500本を販売する人気商品となっており、1万本を目標に掲げました。

町内外に協力を呼び掛けながらSNSでも告知に努め、当日は通常5台体制のレジを6台に増やして臨時スタッフも確保。午前9時のイベント開始から一気に販売数を伸ばし、開始から1時間足らずで認定基準となる2500本を達成すると、終了直前の17時には目標を突破しました。

渡部社長は「自店舗や洞爺湖町への誘客の新しい切り口を考えている時にひらめました。ひっきりなしに町内外の知り合いが来てくれて感謝しています」と喜びを語っていました。

サイロ展望台を運営するマルナカ総業が8月9日、



大勢が訪れた飲むヨーグルトの販売コーナー



認定証を手にする渡部社長(右)

7/11

飲酒を事故の原因としないために 飲酒運転根絶を呼び掛け

洞爺湖町交通安全町民運動推進委員会が、町内の飲食店を訪れて飲酒運転対策の防止に協力を呼び掛けました。

北海道飲酒運転根絶条例の施行から10年の節目に当たる今年、全道で飲酒運転根絶に向けた取組が強化されています。町内ではこの日、委員会のメンバー10人が虻田地区の本町、洞爺湖温泉地区の飲食店34軒を対象に飲酒運転対策を訴えるチラシやポケットティッシュなどを配布しました。



飲酒運転の防止に協力を呼び掛ける参加者

7/11

安心して暮らせる地域を考えよう 地域包括ケア会議

自治会員や民生委員、医療・介護関係者などが地域づくりを話し合う地域包括ケア会議が行われました。町が来年度から始める「重層的支援体制整備事業」に先駆け、地域課題を整理するために13年ぶりに地域交流会として開催しました。

10年後の人口推計などのデータを参考にしながら将来的な地域課題を議論。参加者は、今後ますます進行する少子・高齢化などを念頭に必要な支援について意見を交わしていました。



地域づくりについて話し合う参加者

7/25

北海道の初を満喫 三豊市の小学生来町

町と姉妹都市提携を結んでいる香川県三豊市から小学生12人が来町しました。役場で行われた歓迎式では、児童が町でやりたいことを発表し「湖でバナナボートで遊びたいです」などと話しました。翌日からは、洞爺夏まつりで三豊市から贈られたちょうさ（太鼓台）を見学したり、洞爺湖でのカヌー体験や町内の児童との交流などを通じて3泊4日の旅を満喫。友好都市の交流を深めました。



洞爺湖町でやりたいことを話す三豊市の児童

7/16

箱根の「姉妹」と交流へ 中学生使節団結団式

町の姉妹都市・神奈川県箱根町を訪問する中学生使節団の結団式が行われました。訪町するのは虻田、洞爺の両中学校の生徒各3人。虻田中3年の遠藤紗綺さんが代表してあいさつ文を読み上げ、箱根町中学生使節団とのかけがえのない思い出をつくり、両町の交流を支える決意を語りました。下道町長から箱根町の勝俣浩行町長に送る親書を預かり、交流の成功を誓いました。



洞爺湖町中学生使節団

8/1

洞爺湖を原点にした陶芸を披露 道川省三さん特別展開催

洞爺湖町出身で、世界的に活躍する陶芸家道川省三さんの特別展「THE I N B E T W E E N」が洞爺湖芸術館で始まりました。館内には、有珠山や洞爺湖などの自然から着想を得たという作品を展示。初日は道川さんが来館者を案内し、各作品や作陶について解説しました。実際にろくろを使って制作する様子も披露し、陶芸の魅力を伝えました。特別展は9月23日まで行われます。



作品について解説する道川さん

7/26

大舞台で球児躍動 洞爺湖 L S 東日本3位

洞爺湖町内の中学生硬式野球チーム「洞爺湖リトルシニア」（若松敦治監督）が、8月に長野県で開かれた第14回東日本選抜野球大会に出場し、3位入賞しました。初戦で対戦した長野南（信越）を8―4で下すと、次戦の羽村（関東）には15―0で大勝。岡谷（信越）との準決勝は、0―5で迎えた五回に1点差まで詰め寄る粘りを見せましたが惜しくも一歩及ばず。初出場の大会ながら大健闘を見せました。



東日本3位入賞を決めた洞爺湖リトルシニア